

安全運転管理者 / 総務ご担当者さま必見!

アルコールチェック義務化による 課題と運用方法を徹底解説!

【共同制作】

株式会社AIoTクラウド



安全運転管理者が抱えるお悩み

2022年4月に道路交通法が改正され、運転前後のアルコールチェックが義務化されました。しかし、日々のアルコールチェックで「早朝・深夜/土日祝日の対応を改善したい」「紙での管理を見直したい」「コア業務に専念したい」といったお悩みを持つ安全運転管理者さまも多いのではないのでしょうか。本資料では、そのような安全運転管理者さまの課題や、他社の運用事例について解説します。

あなたも、こんなお悩みはありませんか？

安全運転管理者に日々の業務で負担に感じているお悩み、課題について質問したところ、以下の回答が得られました。*

※AloTクラウド社提供 | 2022年集計

Q1 安全運転管理者が、実際に負担に感じている業務とは？

- 検知器準備、故障対応
- アルコールチェック運用のフロー決め
- アルコールチェックの日々の管理、チェック
- 運転日誌運用のフロー決め
- 運転日誌の日々の管理、チェック
- 運行計画の作成
- アルコールチェックと運転日誌の二重チェック



Q2 安全運転管理業務を行ううえで課題に感じることは？

- アルコールチェックにおける運用ルールの制定
- アルコールチェック、運転日誌の運用フローの定期的な見直し
- 運転者に対するアルコールチェック、運転日誌の運用方法の定期的な指導
- 紙運用による情報漏洩のリスク、保管場所の確保
- リアルタイム点呼



アルコールチェックの義務化に加え、2023年12月から検知器を用いた確認も必須となるため、安全運転管理者の負担は大きくなると想定されます。そこで次ページからは、安全運転管理者が解決したい問題を紐解きながら解説します。

課題の把握

「アルコールチェックに負担は感じているけど、何から取り組んでいいかわからない」といったお悩みを持つ安全運転管理者さまもいらっしゃるでしょう。

本ページではP01で紹介した、実際に安全運転管理者が日々の業務の中で感じている、アルコールチェックのお悩みを紐解きます。

それぞれのお悩みを見ていくと、解決すべき課題は運用方法にあることが多いです。お悩み別に課題を把握し、自社の運用方法を見直してみましょう。

お悩み01

アルコールチェックによって、残業が増えている。早朝・深夜や自身の休日も対応しなければならない。



問題点

- 安全運転管理者に業務が集中している。
※ アルコールチェック義務化により、通常業務に加え急遽アルコールチェックをする必要も生じ、業務の整理ができていない
- 安全運転管理者が1名しかいない。

課題

安全運転管理者の業務過多からの脱却

お悩み02

アルコールチェックに工数が取られ、コア業務に専念できない。



問題点

- アルコールチェックを紙ベースで管理しているため、結果の記録・管理に工数が割かれている。
- アルコールチェックは法的責任を伴う業務のため、チェック項目や実施自体を省略できない。

課題

業務の効率化、コア業務に専念できる時間の創出

お悩み03

アルコールチェックの指導を何回も行うため、心理的負担がある。



問題点

- 運用方法が事業所全体に浸透していない、もしくは統一されていないため、記入漏れ・記入間違いがある。

課題

アルコールチェックの運用方法の統一・指導の徹底

運用方法の見直し

具体的な運用方法の紹介

前ページではそれぞれのお悩みを紐解き、課題を確認しました。では、実際のアルコールチェックの運用方法はどのようなものがあるでしょうか。また「他社はどのように運用しているのか?」と気になる方もいらっしゃると思います。そこで本ページでは、ツール別の運用方法に加え、実際の他社の運用データについても紹介します。

アルコールチェックの運用方法

アルコールチェックで記録した内容を管理する方法としては、以下が一般的です。

01 紙管理



紙用の記録シートを公開している、行政機関のフォーマットを活用して管理します。

フォーマット参考：
一般社団法人千葉県安全運転管理協会「確認結果を記録する書類様式」

安全運転管理者と運転者が紙のチェックリストを使い、記録した日時・運転している車両の自動車登録番号・酒気帯びをしていたかどうかの事実などを記録します。

02 Excelによるデータ管理



Excel用の記録シートは、紙と同様に行政機関から公開されています。Excelで管理したい場合には、そちらを積極的に活用しましょう。

ただし、1年分の膨大なデータを保存するため、管理が煩雑化してしまう恐れがあります。

運用を始める際には、資料格納先の共有や運用ルールを明確に定める必要があります。

03 システム管理



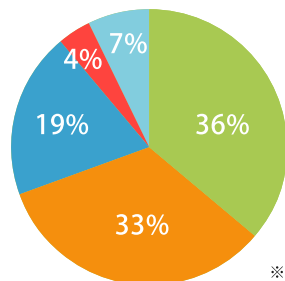
システムを使用することで、検知器の測定データをスマートフォンで撮影し、簡単にクラウド上に登録・管理できます。

また、息を吹き込むだけで法的に必要な情報を自動的に送信・記録してくれるシステムもあります。

サポートの有無など、さまざまなタイプのシステムがリリースされていますので、状況に応じて導入を検討してみましょう。

企業はどのように運用している? 実際のデータをご紹介します!

■ Excel ■ 紙 ■ クラウドシステム ■ 自社システム ■ 未作成



※ AIoT クラウド社提供 | 2022 年集計

左記のデータから、Excel・紙で運用している企業がそれぞれ約1/3を占めていることがわかります。こうした企業の安全運転管理者は管理の負担が大きく、アルコールチェックに課題を感じていることが想定されます。

次のページからは、紙・Excel・システム運用のそれぞれの特徴について詳しく解説します。

アルコールチェックの管理ツール別に見る特徴

アルコールチェックの管理方法は法的に定められておらず、前ページで紹介したように、さまざまな方法があります。本ページでは、紙管理・Excel管理・システム管理、それぞれの運用方法や業務効率などの違いをご紹介します。さらに、各管理ツールがどういった企業に向いているのかも解説します。それぞれの特徴を理解し、自社のお悩みに合ったツールを見つけましょう。

		紙管理	Excel管理	システム管理
導入	スピード	○ すぐに始められる	○ すぐに始められる	✕ サービス契約・申し込みが必要
	コスト	○ 低い（無料）	○ 低い（無料）	✕ 高い
業務	記録簿への記録	△ 手書きのため業務負担が多い。また記入漏れの恐れがある	△ 紙に手書きをするよりも記入や修正が簡単だが、PC・Excelの起動が必要	○ 記録漏れがあっても通知してくれる機能などあり、利便性が高い
	記録簿の管理	✕ ファイリング・保管場所の確保などの手間や、書類紛失のリスクがある	✕ データを誤って削除してしまうリスクがある。紙とExcelが混在している場合、管理や確認が煩雑になる	○ クラウド上で一元管理ができるため、紙やExcelよりもデータの管理がしやすい
	直行直帰	✕ 電話やテレビ電話などで確認を行い、あとで紙提出をする対応が手間	✕ 電話やテレビ電話などで確認を行い、あとでデータ提出をする対応が手間	○ 事業所以外の遠隔地でも簡単に検知データを報告・確認可能
	記録簿の提出・監査	✕ 大量の紙データから探す必要があり業務負担が大きい	△ 管理方法が徹底されていれば問題ないが、整理や管理がきちんとできていない場合はデータを探すのに手間がかかる	○ 必要なデータに手軽にアクセスでき、CSVなどで出力可能
	事業所間での情報共有	✕ 記録の一元管理が難しく、事業所毎で管理を行う必要がある	△ 共有機能を使えば可能だが、適切な管理が必要	○ 会社・事業書などで一元管理が可能
その他	データ不正防止	✕ 書類の差し替え・書き換えが容易で、改ざんのリスクがある	✕ 書類の差し替え・書き換えが容易で、改ざんのリスクがある	○ IDや顔写真などによるデータ管理が可能



こんな企業におすすめ!

- コストをかけたくない
- 事業所、運転者ともに少ない
- データやシステム管理に不安がある

こんな企業におすすめ!

- 紙管理の負担は大きいですが、コストは抑えたい

こんな企業におすすめ!

- 安全運転管理者の負担が大きい
- 運転者数が多く、管理及び提出するデータが膨大

紙管理・Excel管理は導入コストが少なく、手軽に始められますが、記入漏れや改ざんなどのリスクもあるほか、「直行直帰時の対応や事業所間の記録の共有が難しい」「記録簿の提出に時間がかかってしまう」といったデメリットもあります。また、検知器を用いたアルコールチェックにも対応しなければなりません。

「安全運転管理者の負担が大きい」「コア業務に専念したい」とお考えの企業さまは、システムでの管理をおすすめします。

継続的に取り組むべきアルコールチェック義務化にどう向き合っていくか、さまざまな観点からご検討下さい。

アウトソーシングの活用

前ページでは、紙・Excel・システムでの管理方法とそれぞれの特徴をご紹介しました。安全運転管理者さまの負担をさらに軽減するためには、「アウトソーシング」という方法もあります。システムを利用し、ベンダーがチェックからデータの保存まで代行してくれます。

本ページでは、アルコールチェック業務のアウトソーシングについて詳しく解説します。

アルコールチェックはアウトソーシングしても問題ない？

アルコールチェックは各事業所に法律で義務付けられているため、「アウトソーシングを考えているが、法的に問題ないのか」と不安視されている方もいるでしょう。しかし、令和4年3月25日に開催された第208回国会において、警察庁の新田審議官が以下のように発言しています。

“安全運転管理者の不在時など、安全運転管理者自身による酒気帯びの有無の確認が困難である場合には、安全運転管理者がその業務を補助する者に行わせることは可能であり、業務委託であっても差し支えございません。”

引用元：第208回国会 衆議院 環境委員会 第3号 令和4年3月25日



つまり、安全運転管理者の選出は必須にはなりますが、警察庁の見解としても「アルコールチェック業務はアウトソーシング可能」という判断ができます。

アウトソーシングできる業務内容とメリット

アウトソーシングできる業務

- 従業員に対する運転前後のヒアリング
- ヒアリング内容の記録
- ヒアリング内容の記録をデータ化し、保管する

アウトソーシングのメリット

- アルコールチェックの記録を管理する手間が省ける
- 従業員の直行直帰にも対応できる
- 安全運転管理者の早朝・深夜の対応が減る

システムを利用し、アルコールチェックをアウトソーシングすることで、早朝・深夜や土日祝日に対応してもらえるなど、安全運転管理者の負担をさらに軽減できます。また、人件費を削減でき、内製よりもコストを抑えられる可能性もあります。

パーソルワークスデザインでは、「アルコールチェック委託サービス」を提供しています。

サービスの詳細は P07 でご紹介しておりますので、是非ご覧下さい。



おすすめのシステム『スリーゼロ』

株式会社AloTクラウド

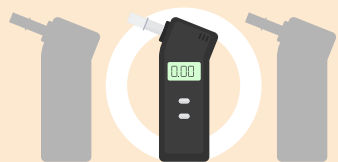
アルコールチェック管理サービス



AloT クラウドがご提供する『スリーゼロ』は、遠隔でのアルコールチェックに対応し、リアルタイムでの状況把握が可能なクラウド型のアルコールチェック管理システムです。

さまざまなアルコール検知器への対応や車両予約、運転日誌との連携により、アルコールチェックの効率化に貢献します。

お客さまのご予算や目的に合わせた検知器を選択可能



- スマートフォンで撮影した検査値をOCR機能で自動認識。検査結果を簡単に登録できます。
- Bluetooth機能対応のアルコール検知器からBluetooth機能がない低価格のものまで、さまざまな検知器をご利用いただけます。

車両予約機能と連動し、アルコールチェック漏れを防止

※一部プラン



- 車両予約機能により運転者はいつでも車両を予約可能。さらに管理者側は管理者画面から車両の予約情報を随時確認できます。
- 車両予約機能と連動し、予約状況から未実施の可能性のある運転者を検知できます。

アルコールチェックに加え、運転日誌もクラウドで一元管理

※一部プラン



- アルコールチェックと連動する運転日誌をスマートフォンで自動作成可能。運転者は検査の実施漏れを予防できます。
- 運転日誌もまとめてクラウドで一元管理ができ、記入や管理の手間をさらに削減できます。



『スリーゼロ』についてのご質問・ご要望など、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせフォームはこちらから ▶



アルコールチェック委託サービス (パーソルワークスデザイン株式会社)

アルコールチェック委託サービスとは

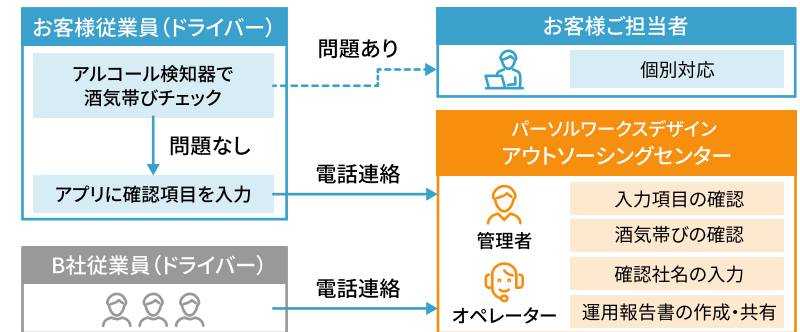
パーソルワークスデザインでは、安全運転管理者の負担がかかるアルコールチェック業務を代行するサービスを提供しています。

システムを利用し、必要項目の入力から運用報告書の作成・共有までまるっとお任せいただけます。社内の担当者に十分なリソースがない、早朝・深夜や土日祝日のアルコールチェックの負担を軽減したい場合などには、アウトソーシングをご検討ください。

アルコールチェック委託サービスで できること (対応範囲)

安全運転管理者に代わり、下記業務を代行します。

- 入力項目の確認
- 酒気帯びの確認
- 確認者名の入力
- 運用報告書の作成・共有 (対応実績、KPI 達成度など)
- イレギュラー発生時のエスカレーション



サービスの特長

早朝・深夜のみなど、 お客さまのニーズに合わせてアウトソース

24時間365日、早朝・深夜のみ、土日祝日のみなど、お客さまのご要望に合わせて、コールセンター窓口の開設時間を決定します。



シェアード体制で運用するため、 コスト抑制をした委託が可能

シェアード体制とは、オペレーターや管理者が複数企業のコールセンター業務を兼任する体制です。設備費や人件費を複数社でシェアするため、専任で体制を構築するよりもコストを抑えて代行できる可能性があります。

お待たせしないオペレーターの配置で、 繋がりを確保

お客さまの入電傾向に合わせて人数を調節するなど、最適なオペレーターの配置を行います。また、アルコールチェック管理アプリを使うことで、1回あたりの通話時間を短くしています。効率的なオペレーションで繋がりを確保し、ドライバーの方をお待たせしません。



詳しい「アルコールチェック委託サービス」の資料は、
こちらからお気軽にダウンロードください。

資料ダウンロードはこちらから ▶



特別なご案内

当ホワイトペーパーでは解決できなかった
アルコールチェック業務についてのお悩みや疑問にお答えいたします。

参加 方法

- 1 資料ダウンロード時にご入力いただいたメールアドレス宛に、個別相談会のご案内をお送りしております。
- 2 ご参加のお日にちを複数候補ご記載の上、ご案内メールに返信してください。
- 3 日程調整ができ次第、担当よりご連絡をいたします。

ご不明点・その他お問い合わせはこちら

パーソルワークスデザイン株式会社
営業部
813683@persol.co.jp





PERSOL

パーソルワークスデザイン

2023年9月発行

パーソルワークスデザイン株式会社

東京都豊島区池袋2-65-18 池袋WESTビル

<https://www.persol-wd.co.jp/>

© PERSOL WORKS DESIGN CO., LTD. All Rights Reserved.